

日本大学生物資源科学部放射線利用施設

研究業績

令和 2 年度

著者名 鈴木也実・小松雅史・太田祐子

標題 異なる時期に発生した菌根性きのこススケヤマドリタケの放射性セシウム濃度の比較

掲載誌名 関東森林研究

巻、号、始頁—終頁 71(2): 229-232

発表年 2020 年 9 月

著者名 Komatsu M, Suzuki N, Ogawa S, Ota Y.

標題 Spatial distribution of ¹³⁷Cs concentrations in mushrooms (*Boletus hiratsukae*) and their relationship with soil exchangeable cation contents

掲載誌名 Journal of Environmental Radioactivity

巻、号、始頁—終頁 222 : 1063364

発表年 2020 年 10 月

糸長浩司、気候非常事態という人類の病への処方箋、『BIOCITY82 号 特集 気候非常事態宣言!』、(株)ブックエンド、2020

關正貴・糸長浩司・浦上健司、長期的放射能汚染地域の汚染実態と農村計画的課題と政策提案：その 1 飯舘村の住宅等汚染実態と住宅建替状況、日本建築学会大会梗概農村計画学会、2020

浦上健司・糸長浩司・關正貴、長期的放射能汚染地域の汚染実態と農村計画的課題と政策提案：その 2 飯舘村の避難解除後の農的生活と意識、日本建築学会大会梗概農村計画学会、2020

糸長浩司・浦上健司・關正貴、長期的放射能汚染地域の汚染実態と農村計画的課題と政策提案：その 3 農村計画的課題と政策提案、日本建築学会大会梗概農村計画学会、2020

糸長浩司、放射能汚染農村地域での農村計画の深化を～復興核災害のリスクを回避し、破局対応型での長期的復興農村計画の構築に向けて～、農村計画学会誌、39 巻 4 号、2021

糸長浩司、原発事故・終わりのなき人為災害と復興事業による核災害のリスク、『農村と都市をむすぶ』2021年3月号、2021

糸長浩司他シンポジウムWG4、原発事故による長期的な放射能汚染被害地域での建築・まち・むらづくりをどのように進めるか中間報告書、日本建築学会「東日本大震災10周年を機に頻発する複合災害を考える」シンポジウム資料、2021